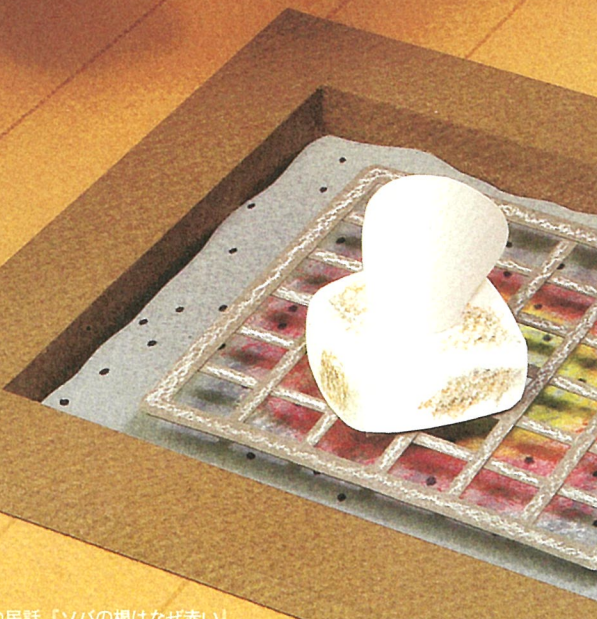




2005
新春号

ほっと石川



**【特集】上海までわずか2時間！
定期便の就航で進む
国際化と膨らむ夢**

**【新春特別企画】
ワールドチャンピオンを目指して！
松井秀喜選手の3年目の挑戦が始まる**



特集

小松⇄上海わずか2時間!!

定期便の就航で進む 国際化と膨らむ夢

平成16年11月25日、小松—上海定期便が就航しました。小松空港から上海浦東国際空港までの所要時間はわずか2時間という近さ。今後、ビジネスや文化、観光などさまざまな分野で、石川県と中国の交流が深まることが期待されています。

小松発 ⇒ 上海着 13:30
上海発 ⇒ 小松着 14:25
上海発 ⇒ 小松着 9:20
小松着 12:30

※上海発着は現地時間 毎週木・日曜運航



小松・上海定期便就航記念式典



上海からの第一便で到着した中国東方航空グループの曹建雄副総裁を出迎える石川県観光交流大使の嵯峨百合子さん

就航までの歩み

- 平成14年
 - 11月 小松空港中国便開設促進期成同盟会が発足
- 平成15年
 - 3月 谷本正憲知事が訪中し、中国東方航空グループの葉毅幹総裁に開設を要請
 - 10月 谷本知事が訪中し、中国東方航空グループや中国民航総局などに要請
 - 11月 小松—上海チャーター便を9便就航（～16年1月まで）
 - 12月 中国東方航空グループに石川、福井両県経済界の合同要望書を提出
 - 12月 中国東方航空グループの葉毅幹総裁が石川県の小松空港を視察
 - 谷本知事が訪中し、中国東方航空グループに要請
 - 小松—上海チャーター便の平均搭乗率が90%を超える
- 平成16年
 - 3月 プログラムチャーター便を35便就航（～7月末まで）
 - 4月 谷本知事が訪中し、中国東方航空グループと中国民航総局に要請
 - 6月 中国東方航空グループより定期便11月就航の親書
 - 7月 プログラムチャーター便の平均搭乗率が87.8%
 - 9月 中国東方航空グループが国土交通省に小松—上海定期便開設認可を申請
 - 10月 国土交通省が定期便開設を認可
 - プログラムチャーター便を6便就航
 - 11月 小松—上海定期便が就航

Contents 目次 2005 新春号

- 特集
上海までわずか2時間!
定期便の就航で進む
国際化と膨らむ夢 ……2
- 新春特別企画
ワールドチャンピオンを目指して!
松井秀喜選手の
3年目の挑戦が始まる…10
- 知事の窓 ……12
- ほほえみ(石川のボランティア) ……12
「小波」
音訳サークル(輪島市)
- 市町村topics ……13
七尾市
- シリーズ石川の総湯 ……14
粟津温泉総湯
- ふるさと食材図鑑 ……15
- Information ……16

表紙について

■ シリーズ ふるさとの民話
ソバの根はなぜ赤い
(かほく市)

ある日、漁師の与次郎がイワシを売りに出かけると、その道中、天狗に襲われました。与次郎は、慌てて近くの農家の天井裏に隠れます。追ってきた天狗が探しますが、見つけれません。代わりにもちを見つけ、それをいろいろで焼きながら、居眠りをはじめました。お腹をすかせた与次郎がカギの付いた竹ざおで天井からモチを取ろうとすると、寝ぼけた天狗が見て、「さおの化け物が出た」と驚き、土間のかまに逃げ込みます。与次郎が、釜にふたをして火をつけると、とうとう、天狗は赤い水になってしまいました。気味悪がった与次郎は、その水をソバ畑にまいてしまいました。以来、ソバの根は赤くなったと伝えられています。

ペーパークラフト制作/谷俊道(金沢市在住)



中国発展の中心地に アクセス

念願の小松—上海定期便が、昨年11月に就航しました。これも県民の皆様をはじめ、県内市町村や福井県など各界各層のご支援、ご協力のたまものであると、心より感謝申し上げます。また、就航を決断された中国東方航空グループには、深い敬意を表します。

さて、経済成長が著しい中国の中でも、上海市と江蘇省、浙江省などの華東地域は、中国経済の中心地として発展を続けています。北陸からも多数の企業が進出しており、活発な経済交流が行われています。

さらに、石川県は平成7年に江蘇省と友好交流協定を結び、農業や経済、人材育成など多くの分野で交流を進めています。上海定期便の就航により、産業や文化、観光などあらゆる面で中国華東地域との交流が一層盛んになることを期待しています。

石川県知事 谷本 正憲



SHANGHAI



19世紀後半、欧米諸国の居留地として栄えた外滩



明時代の代表的な庭園・豫園

中国で、今もつと 熱い街・上海

小松―上海定期便で
新しくつながった上海は、
長江の河口に位置し、
人口約1330万人
(平成14年)の
中国第一の経済都市。
中国を代表する観光地としてだけでなく、
成長を続ける巨大市場・中国への入口として、
世界から熱い注目を集めています。



1.夜になるとライトアップされ、きれいに輝く外灘。日中の重厚な感じとは違った表情で観光客を魅了します。2.上海のメインストリートの南京路步行街は、大型デパートやホテル、高級ブティックが並ぶ観光スポット。3.上海の発展ぶりを象徴する浦東。左側の東方明珠電視塔は、アジア第一位の高さを誇ります。4.上海の若者たちに人気がある新天地。租界時代のレトロな街並みを生かしたおしゃれなカフェやレストラン、ブティックがあり、流行の発信地になっています。5.租界時代の歴史ある西洋建築が並ぶ外灘。上海観光の定番スポットで、現在、建築群全体が文化財に指定されています。



川を挟んで、 上海の昔と今が

唐の時代より中国内陸部と沿岸部をつなぐ港町として栄えた上海。その上海が歴史に大きく登場するのは、十九世紀半ばのアヘン戦争からです。この戦争をきっかけに、欧米諸国が租界と呼ばれる居留地を設けて進出。以降、中国、アジア経済の中心の一つとして大きく発展しました。今でも外灘には、当時の欧米建築の建物が多く残され、ホテルや銀行として使われています。東洋と西洋が入り交じるエキ

ゾチックな風情で、上海一の観光名所となっているほか、夜にはライトアップされ、とてもきれいです。

しかし、現在の上海を象徴するのは外灘から黄浦江を挟んで、対岸に見える浦東でしょう。八〇年代の改革開放政策以降、国際的な金融、貿易、経済センターとなることを目指し、開発が進められてきました。近未来的を思わせるデザイン、高層ビルが林立する様子からは、今の上海が持っている勢いと熱気が伝わってきます。

そのにぎわいと発展ぶりは、東京など世界の大都市に比べても引けをとりません。

以前から「世界の工場」と言われている中国ですが、最近では十三億人の人口を抱える「世界の市場」としても注目されています。その玄関口となる上海には、現在、約六千社の日系企業が進出しており、石川県からも三十六社、北陸全体で百七社が上海と近郊の華東地域に進出しています。進出した県内企業では、今回の小松―上海定期便の就航を、「関西空港などの利用に比べ、時間やコストが節約できる」「東京出張と同じ感覚で中国に行ける」と歓迎しています。今回の定期便就航をき

っかけに、巨大な市場を求めて、上海に進出する県内企業がさらに増えることでしょう。

また、中国での所得水準が向上するにつれて、今後、中国から日本への観光客が増えることが予想されています。経済的に豊かな江蘇省や浙江省などの華東地域で訪日団体旅行ビザが解禁されたこともあって、県内の観光関係者から有望な観光客市場として期待されています。

『花の恋』の制作に協力しています。『花の恋』は、中国と台湾のテレビ局が共同制作するドラマで、北陸と中国を舞台に、上海の女性ガラス作家と日本人芸術家の恋愛模様を描くもので、今秋から中国をはじめ、東南アジア各国でも放映される予定です。

ドラマの中には、金沢城公園や兼六園など、石川県内の観光名所がふんだんに盛り込まれる予定で、今年三月から四月にかけて石川県ロケが行われます。昨年、『冬のソナタ』の効果で韓国旅行が大人気になったように、テレビを観た中国やアジアから、多くの視聴者が石川県を訪れることが期待されています。

「世界の市場」の玄関口

浦東に象徴されるように、上海は十年以上、二ヶタの経済成長を遂げてきました。市民の所得水準は高く、南京西路には有名ブランドの店が並びます。また、再開発により、租界時代のレンガ造りの家並みをカフェやレストランなどに改装した新天地は、流行最先端のエリアとして、おしゃれな上海の若者たちや海外からの観光客でにぎわっています。

Column 県内企業の 中国進出をサポート

石川県上海事務所
国際ビジネスサポートデスク

石川県上海事務所は、平成9年の開設以来、中国でのビジネス情報の収集をはじめ、現地に進出した企業のサポートなど行っています。最近では、企業の中国市場への関心の高まりを受けて、県内中小企業の販路開拓を支援する取り組みも行っています。

また、昨年4月に県産業政策課内に開設された国際ビジネスサポートデスクは、海外企業とのビジネスや海外進出にチャレンジする県内企業を支援する総合相談窓口です。海外市場の情報提供や販路開拓への支援、海外企業との提携など、国際ビジネスに関するあらゆる問題をこ

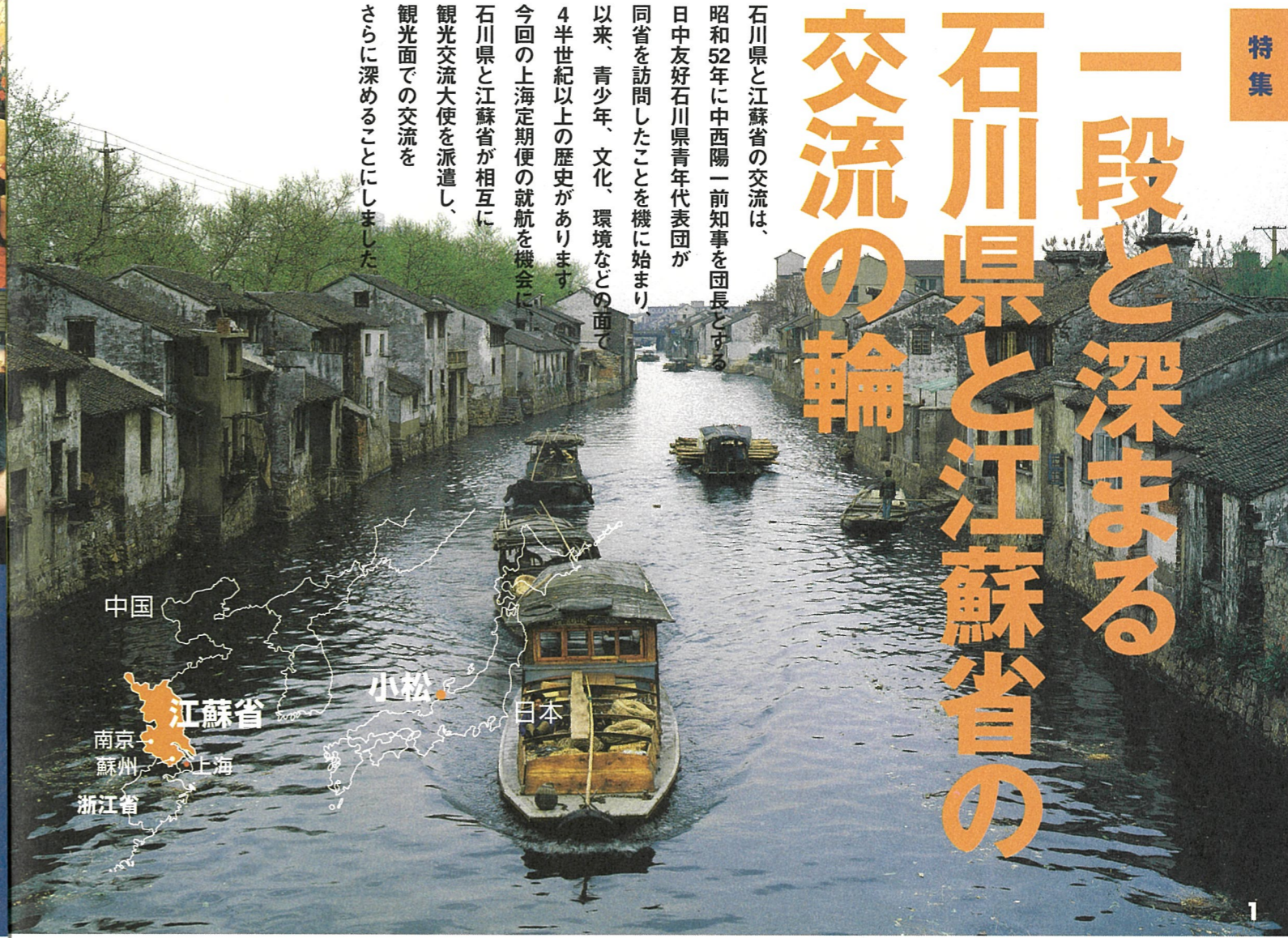


県上海事務所があるビル

こ一カ所て相談できる、ワンストップサービスを提供しています。

一段と深まる 石川県と江蘇省の 交流の輪

石川県と江蘇省の交流は、昭和52年に中西陽一前知事を団長とする日中友好石川県青年代表団が同省を訪れたことを機に始まり、以来、青少年、文化、環境などの面で4半世紀以上の歴史があります。今回の上海定期便の就航を機会に、石川県と江蘇省が相互に観光交流大使を派遣し、観光面での交流をさらに深めることにしました。



1.水の郷と言われるだけに都市には昔からの運河が多く残され、今も使われています。2.中国共産党江蘇省委員会の李源潮書記を表敬訪問する石川県観光交流大使訪中団。3.上海市で開催された旅行展示会で石川県を紹介する観光交流大使の嵯峨百合子さんたち。4.旅行展示会の北陸三県の展示ブースは行列ができる人気ぶり。5.江蘇省から観光交流大使として来県した南京市の学生の張健さん(右)と楊婷さん(左)。6.テレビ番組にも出演して、江蘇省の魅力を紹介しました。7.谷本正憲知事を表敬訪問する張さんと楊さん。

定期便就航で 深まる友情に期待

小松-上海定期便の就航にあたり、7,400万人の江蘇省人民を代表し、心よりお祝い申し上げます。

これまでの4半世紀を超える江蘇省と石川県の幅広い分野にわたる交流や協力は、極めて良好な成果を収めております。小松-上海定期便の就航は、両省県の交流や協力を進める上で、利便性の向上と大きなチャンスをもたらすこととなります。

わたしどもは江蘇省の各界の人々に対し、石川県への訪問を奨励するとともに、さらに多くの石川県および北陸地区の友人が、観光や企業投資のために江蘇省を訪ねていただけることを歓迎いたします。

石川県の今後ますますの繁栄と県民の皆様のご多幸を祈念申し上げるとともに、江蘇省と石川県の友好協力が定期便就航を新たな起点として前途洋々と翼を広げ、空高く飛躍できることを心より願っております。

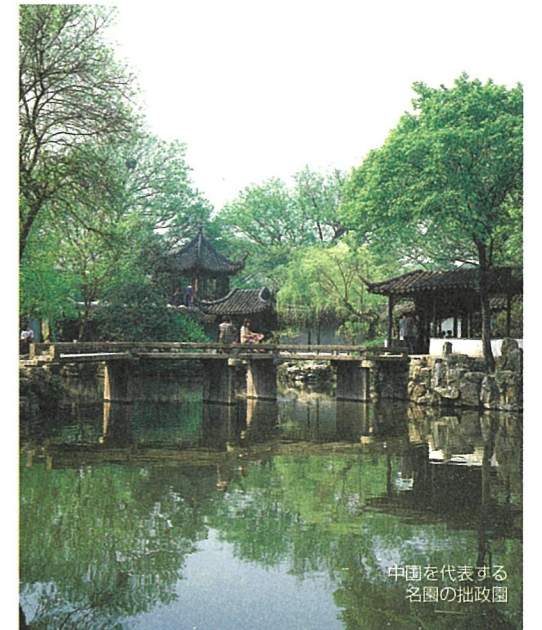
中国共産党江蘇省委員会書記
江蘇省人民代表大会
常務委員会主任
李 源潮



山水画を思わせる 水の郷

江蘇省は上海市の隣に位置し、川や湖が全面積の一七%を占めることから、「水郷の江蘇」とも呼ばれ、山水画を思わせる美しい景色の多いところでは、人口は約七千四百万人で、上海市、浙江省とともに長江デルタ経済圏を形成し、省内総生産は中国でもトップクラスとなっています。外国からの投資も多く、中国全土の約四分の一が集中していると言われています。

主な都市に、省都・南京市、蘇州市などがあり、南京市は、北京、西安、洛陽と並ぶ中国四大古都の一つに数えられ、歴史的な見どころも多いところです。また、観光地として有名な蘇州市は、市内を縦横に運河が流れ「東洋のベニス」とも言われています。拙政園に代表される庭園も見事で、蘇州古典園林として世界遺産にも登録されています。上海からは電車で約一時間と近いので、上海観光の折に訪れるのもいいかもしれません。



中国を代表する名園の拙政園

加賀百万石の伝統で 石川をアピール

昨年十一月、小松空港から上海に向かう初便で、石川県観光交流大使訪中団が江蘇省を訪れました。観光交流大使を務めたのは、ミス日本グランプリの嵯峨百合子さんと県職員鈴木繁浩さん。

二十六日、南京市入りした一行を、さっそく地元テレビ局が取材。「石川らしいPRを」という取材スタッフの求めに応じて、嵯峨さんが加賀宝生の仕舞を披露しました。その後、中国共産党江蘇省委員会の李源潮書記を表敬訪問。李書記に、団長の寺西盛雄出納長が谷本知事の親書を手渡しました。続いて開かれた歓迎夕食会で

は、着物姿の観光交流大使一人が中国語で自己紹介。嵯峨さんは、「四季折々の山海の幸、温泉、伝統文化に恵まれた観光石川に、上海便を利用してぜひお越しください」と、石川への来訪を呼びかけました。嵯峨さんの桜をあしらった優美な加賀友禅姿に李書記は、「鮮やかな色の中国のドレスと対照的で、淡い色調に日本の情緒を感じますね」と話していました。

アジア最大の 旅行展示会に参加

二十七日、上海市に戻った一行は、アジア最大規模の旅行展示会「中国国際旅遊交易会」にも参加しました。会場は、日本や中国など四十九カ国千四百五十四ブースで埋まる盛況ぶり。会場内のメインステージでは、嵯峨さんと鈴木さんが掛け合いで石川県を紹介したほか、山中節振興会の皆さんが、山中節娘踊りや獅子踊りを披露しました。日本の着物姿は上海市民の目を引き、北陸三県の合同展示ブースは、パンフレットが足りなくなるほどの人気ぶりでした。

江蘇省からも 観光交流大使が

一方、江蘇省からも観光交流

大使訪問団の一行六人が石川県を訪れました。江蘇省の観光交流大使は、南京市で観光について学ぶ学生、楊婷さんと張建さんです。二十五日、上海からの初便で小松空港に到着した楊さんと張さんは、色鮮やかなチャイナドレスと唐服姿。県庁訪問後、開かれた記念レセプションでは、「上海定期便のおかげで、石川県が近くなりました。皆さんもぜひ、江蘇省に来て下さい」と流ちょうな日本語であいさつしました。二十六日から二十七日にかけては、県内の旅行会社や報道機関を回ったほか、県の広報番組や地元放送局の番組にも出演しました。省都・南京市や観光地として人気の高い蘇州市など、江蘇省の魅力について熱く語ってくれました。



景勝地として有名な太湖



昨年十二月一日、「ほっと石川県民のつどい」が県庁十九階展望ロビーで開かれ、「小松—上海定期便の利活用」をテーマに、十四人の県民の方々が谷本知事と直に意見を交わしました。

行政と地元企業、住民の連携で定期便を太い架け橋に

知事と県民がざっくばらんに

「県民のつどい」は、知事と県民が直接、県政の重要施策について、ざっくばらんに意見を交わすことで、県民の方の意見やアイデアを県政に反映させるため開催しています。今回の参加者は、県内の温泉旅館や旅行会社、上海進出企業の関係者のほか、中国語を学ぶ若い女性など十四人。中国から観光

石川、福井両県の経済界の強い後押しもあって実現しました。ですから、北陸の企業の方には、ビジネスでの利用の際は、ぜひ小松空港を使っていたいただきたいという思いがあります。上海浦東国際空港は、中国国内や東南アジア各国を結ぶ多くの路線がありますから、北京や香港などに行く場合も、上海から乗り継いでいってほしいですね。実績を積み重ねて需要があることを示すことが、将来の増便にもつながると思っています。企業の方にとっても、出張旅費などのコストダウンにつながるわけですから、「上海定期便を育てていく」という意識で、利用の促進と実績の積み上げにご協力をいただきたいと思っています。

県内には、中国人の研修生が大勢います。石川で学び、石川の魅力を肌で感じた研修生を県の上海事務所などで、観光PRなどに従事させて活用する考えはありませんか。

谷本知事 ● 将来的に、中国からの観光客を受け入れる県内の体制が整ってくれば、そういったことも考えていきたいですね。

ただ、現在の県の上海事務所は、観光よりも中国に進出する県内企業の支援に主眼を置いています。



平成16年度ほっと石川県民のつどい
「小松—上海定期便の利活用」



「花之恋」制作计划发表
制作:中国文连音像出版社(筹办中)
协助:中视文化公司、石川県・国際観光振興委員会

1. 上海市内のホテルで開かれた中国と台湾が合作する連続テレビドラマ「花の恋」の制作発表会に出席する谷本知事ら。2. 平成16年9月、江蘇省の常州市で開かれた「中国国際中小企業商品博覧会」に石川県も出展。県内から13社の中小企業がビジネスチャンスを探求めて参加しました。

客をどう呼ぶのか、上海定期便をビジネスにどう生かすのかなど、谷本知事とさまざまな意見を交わしました。

皆さんから次々とアイデアが

上海の人たちが、日本に求めているのは、雪と温泉、電化製品、それにアニメやファッションだと聞きます。石川県には、せっかく雪も温泉もあるのですから、知名度をいかに上げるかがカギとなるのではないのでしょうか。

谷本知事 ● その通りです。やはり、石川県や北陸をよく知ってもらうことが第一であり、そのためには息の長いPRが欠かせません。石川県と中国を舞台とした連続テレビドラマ「花の恋」の制作に協力するのもその一つです。中国や東南アジア各国で『花の恋』が放映され人気番組となれば、石川県の知名度も上がります。いかに石川をアピールできるか、いろいろな方の知恵を聴き入れて、取り組んでいきたいと思っています。

現在、週二便の上海便を増便して、利便性を高めることが潜在的な利用客の増加に役立つと思つのですが。

谷本知事 ● 上海定期便の就航は、

ですから、例えば、江蘇省の旅行会社などで、そういった研修生を雇用してもらえないか、今後、江蘇省に働きかけていくことも大事だと考えています。

平成十六年、江蘇省の常州市で開かれた「中国国際中小企業商品博覧会」に出展した石川県のブースに参加したところ、現地で思いのほか反響がありました。今後、定期的に出展していく考えはありませんか。

谷本知事 ● 常州での博覧会は、中国全土を対象としたもので、江蘇省も非常に力を入れています。今回、江蘇省との経済交流の一環として出展したのですが、これが将来のビジネスチャンスにつながることを江蘇省とともに期待しています。県内企業からの要望があれば、できれば今後も続けていきたいと考えています。



小松空港から上海に飛び立つ初便



ふるさとの球児を 熱心に指導

一年ぶりにふるさとの石川県に帰ってきた松井選手。年末年始を家族や友人たちと過ごし、一月五日、根上町体育館で開かれた「松井秀喜選手の野球教室」に出席しました。

根上少年野球クラブ創部三十周年記念行事として行われた同教室では、かつて所属したチームの球児たち約五十人にキヤッチボールやバッティングを指導し、「ボールを良く見て、力強くたたき」などの助言を送りました。球児たちは、「あこがれの松井選手のアドバイスを忘れずに、プロ野球選手を目指したい」と目を輝かせていました。最後に自らがティー打撃を披露。ビニール製のボールを軽々と観覧席に放り込み、会

悔しさをバネに ワールドチャンピオン

引き続き、根上町総合文化会館で開かれた「松井秀喜選手と新春町民の集い」に参加。会場を埋めた約千二百人のファンと交流しました。

松井選手は開口一番、「けがもなく帰ることができ、皆さんの元気な笑顔に会えてうれしい」と、地元ファンに感謝の気持ちを表しました。会場では、松井選手が小学生以下の子どもたち全員と、壇上でハイタッチや握手を交わしたり、サインボールを観客席に投げ込むなど、ファンとのふれあいを楽しみました。また、質問コーナーでは、「チームで仲が良い選手はだれですか?」といった質問にユーモアを交えながら笑顔で答えていました。最後に今年の抱負について「皆さんの元気な笑顔のおかげで、今年も元気にプレーできます。三度目の正直で、ワールドチャンピオンを目指します」と、力強く語りました。

NEW YEAR Special Report

ワールドチャンピオンを目指して! 松井秀喜選手の

3年目の挑戦が始まる

2年目のシーズンを終えたニューヨーク・ヤンキースの松井秀喜選手は、打率2割9分8厘、31本塁打、108打点と、1年目をすべて上回る成績を土産に石川県に里帰りしました。今回は、松井選手の活躍を振り返りながら、故郷・石川でファンとふれあう松井選手の様子を紹介します。



ふるさとのファンと1年ぶりの交流を楽しむ松井選手。

日本での開幕戦で 第1号本塁打

そんな松井選手の昨シーズンの活躍を、あらためて振り返ります。

平成十六年三月三十、三十一日、ヤンキースの開幕戦が日本の東京ドームで行われ、スタンドは松井選手の凱旋アイチを見ようと五万五千人の大観衆で埋まりました。その中には、家族や地元石川県から駆け付けたファン三十人の姿もありました。

大勢のファンが見守る中、松井選手は三十一日の試合で、第1号ホームランを打ち、ファンの期待に応えました。いつまでも鳴り止まない拍手。最高の形で、松井選手の一年がスタートしました。

ボールを追って 客席に顔面を強打

開幕して早々、冷やりとさせられる場面がありました。四月二十二日の試合では、ファールボールを追った際、勢いあまってフェンスを越えて客席に顔面を強打しました。一瞬、球場は静まり、けがが心配されましたが、幸いにも無事。「捕れるものは捕らない



日本で迎えた開幕戦の第2戦で、ファンの期待に応えてホームランを打ちました。(写真提供/共同通信社)

石川県人会が待つ レフトに本塁打

といけない。プレーヤーのあべき姿としてそういうプレーをするのが当たり前だと思つ」というひたむきな姿勢が、ファンの共感を呼びました。

昨年石川県をはじめ日本から、大勢の人が応援のため渡米しました。大型連休中の五月一日、ニューヨーク石川県人会の会員五十五人と、大勢の日本人観光客がレフトスタンドに陣取りました。

松井選手の第3号ホームランが石川県人会のいるレフトスタンドに吸い込まれ、ファンは思わぬプレゼントに興奮しきり。「風邪で体調を崩して

日米通算1500試合 連続出場

連続試合出場は、日本のプロ野球時代からの松井選手のこだわりの一つ。六月二十三日、ボルティモア・オリオールズ戦に出場し、日米通算千五百試合連続出場を達成しました。十二年かけて到達した大記録です。

また、十月三日、最終戦に出場し、百六十二試合全試合出場を達成しました。二年連続全試合出場は、昨季のメジャーリーグでも、四人しかいない偉業でチームメイトやフ

大活躍するも リーグ優勝を逃す

十月十日、ミネソタ・ツインズとの地区シリーズを制し、二年連続二度目の地区優勝を決めました。地区シリーズでは、四試合で打率4割1分2厘、1本塁打、3打点を記録してチームをけん引しました。続くボストン・レッドソックスとのリーグ優勝決定シリーズでは、第三戦に二本のホームランを含む6打数5安打5打点を記録するなど大活躍し、球場を埋めたファンを熱くさせました。ところが、最終戦までもつれた末に敗れ、ワールドシリーズ進出を逃がしました。三連勝からまさかの四連敗に、「不完全燃焼という感じ。でも仕方ないですね」と、敗戦の悔しさをかみしめる姿が印象に残っています。

今年こそ、チームをワールドチャンピオンに導くよう、松井選手のさらなる活躍が期待されます。



地区優勝を決めた試合で監督に迎えられる松井選手。(写真提供/共同通信社)



野球教室では、豪快な打撃で球児たちの視線を釘付けにしました。

農産物の産地偽装や入浴剤を混入した温泉など、昨年とはかく「偽物」が世間を騒がせました。

消費者の安心と信頼を裏切るような行為は、天に任せておかないで、消費者の定と云うべきか、それらの産地や温泉地からは客足が遠のきました。当然と言えは当然の結果です。

街やスーパーへ行けば、お手軽なファストフードや一見ただけではどんな原料が使われているかわからない食品も増えています。もちろん、それらを偽物と呼ぶつもりはありませんが、わたしはこんなときこそ、プロもうなずくような「本物」が大きな価値をもつと思うのです。

例えば、昨年、東京・築地市場の一角にある食堂に、能登の食材を売りこむ取り組みを始めました。市場のセリ人や仲買人などの目利きた



「本物」がもつ力で 明るい世の中に

ちに、能登産の小豆やタコ、いしる、海藻などを使った特別メニューを味わってもらい、能登ブランドを口コミで広めていくのが狙いです。

うれしいことに評判は上々で、食堂とその系列の料理店が新たな食材を求めて能登を訪れました。将来は、能登空港から食材を首都圏へ直送できるぐらいブランド力が高まればと、大いに期待しています。

能登に限らず、石川県には他県に誇れる「本物」がたくさんあります。わたしの好物のスワイガニやコウバコもそう。それを肴に冷やで飲む地酒もそう。本当においしくて、幸せな気持ちになります。

海の幸、山の幸と言いますが、おいしい食べ物には人を幸せにする力があります。こんな力をもった石川の本物たちにもっと光をあてて、ぜひとも、明るい一年にしたいものですね。

市町村 topics 七尾市 NANAO

昨年十月一日、七尾市と田鶴浜町、中島町、能登島町の一市三町が合併して、新しい七尾市が発足しました。今回は、新生七尾市が掲げるまちづくりを紹介します。

小さな世界都市を目指す

新しい七尾市の人口は、加賀市に次いで県内五番目となる、約六万三千八百人(平成十六年十二月末現在)で、能登の中核都市として、さらなる発展が期待されています。同市が合併にあたり作成した新しいまちづくり計画で掲げるのは、「人が輝く交流体感都市」。「学ぶ・興す・笑う・結ぶ」の四つを柱に、七尾湾の豊富な資源や温泉を生かして市民と来訪者が交流する、小さな世界都市を目指しています。

ちなみに、「学ぶ・興す・笑う・結ぶ」とは、「学ぶ」は能登の未来を担う人づくり、「興す」は経済的自立を可能にする産業活力づくり、「笑う」は笑顔で住み続けられるやすらぎづくり、「結ぶ」は人・地域・世界

をつなぐ連携づくり、のことです。今後は、これに基づいて、旧鹿北三町の中学校を統合する中学校の整備など、さまざまなプロジェクトを進めていきます。

長谷川等伯の国宝がお目見え

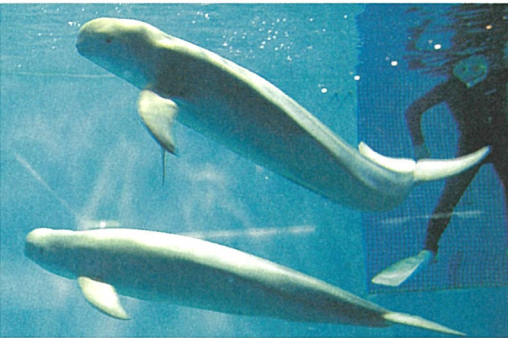
ところで、七尾市からさっそくニュー・スが届いています。昨年十二月、のどしま臨海公園水族館に雄と雌のスナメリが加わりました。体長が約百七十七センチほどのスナメリは、イルカの仲間ですが、背びれやくちほしがありません。日本海側では初めての飼育となり、表情に愛さようがあって、早くも人気者になっています。

さらに、石川県七尾美術館では今年四月二十五日から、新七尾市の誕生を記念して「国宝・松林図屏風 長谷川等伯展」が開催されます。

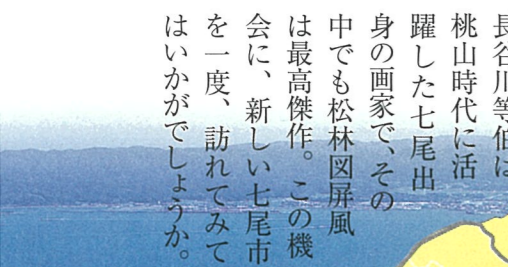
長谷川等伯は桃山時代に活躍した七尾出身の画家で、その中でも松林図屏風は最高傑作。この機会に、新しい七尾市を一度、訪れてみてはいかがでしょうか。



▲石川県七尾美術館は、能登地区で唯一の総合美術館です。



▲スナメリは、世界で最も小さなクジラやイルカの仲間です。(写真提供/北国新聞社)



七尾湾と温泉を生かして 能登から 世界への架け橋に

smile 石川のボランティア ほほえみ



▲マイクや音量を調節する機材など、本格的な設備がそろっています。

広報誌の音訳テープを作成

音訳サークル「小波」は、市内に住む視覚障害者二十人に、市広報「わじま」を音訳して毎月届けるほか、福祉施設に出向いて朗読ボランティアも行っていきます。

活動拠点は、市社会福祉協議会の一室。作業効率を考慮して、奇数月と偶数月の二つのグループに分かれて活動しています。毎月、当番の会員が集まり、約二十ページの広報誌を分担して読み、九十分のカセットテープに録音しています。

音訳で最も大切なのは、聴き取りやすさ。ラジオの朗読講座を修了した代表の中宮章子さんが、「ニュースを読むアナウンサーが理想です」とアドバイスを送ります。

お礼の手紙に増すやりがい
会員は練習の後、一人ずつ録音に入ります。最近、聴き手にだれが読んでいるのか分かるよう、会員の名前も紹介するように



▲老人ホームなどで朗読ボランティアもする「小波」の皆さん。

●問い合わせ
音訳サークル「小波」
代表 中宮 章子
〒928-0001 輪島市河井町20-1-1
(輪島市社会福祉協議会)
TEL.0768(22)2219

したところ、個人あてのお礼の手紙や「もっとこう読んでほしい」という要望がくるようになったそうです。「聴き手の気持ちに直接触れることで、以前よりやりがいが大きくなりました」と、会員も顔をほころばせます。平成四年の発足から十二年がたち、この間、朗読指導員を招いて技術を磨くなどしてきた「小波」の皆さん。中宮代表は「広報誌の音訳テープを必要とする方はもっているはずで、会の存在を知らせてさらに役に立ちたい」と話しています。

大切な情報を 音訳して 視覚障害者に届ける

●音訳サークル「小波」(輪島市)

千三百年の歴史を誇る 泰澄大師 ゆかりの名湯

養 老二年（七一八）に、泰澄大師が発見したと伝えられる栗津温泉。県内最古の温泉と言われ、二〇一八年には開湯千三百年を迎えます。

そ の温泉街の中心にあるのが栗津温泉総湯です。明治時代からある総湯は、大正時代に木造からタイル張りの建物へと建て替えられ、昭和四十五年現在の姿になりました。最近、地元の人々による街並みづくりの一環として、新しいのれんがお目見えしました。

浴 槽を満たしている源泉は、「美人の湯」の名にふさわしい、なめらかな肌ざわり。古くは湯治場としても栄えた栗津の自慢の湯です。

湯 量の豊富さに加え飲泉としても効果があり、寒いこの季節、体が中と外

からも温められ、「栗津は湯でもてなす」の言葉に思わず納得。平日でも約三百人が訪れる総湯は、憩いといやしの場所として市民に愛され続けています。

総 湯周辺をちよつと散策すれば、樹齢四百年といわれる「黄門杉」や素朴な石仏が並ぶ「祈りの小径」など、そこかしこに歴史の面影を感じることが出来ます。また、車で十分ほど走れば那谷寺があり、四季折々に美しい風景が楽しめます。名湯と名刹で、心と体をゆくりと休めてみませんか。

から温められ、「栗津は湯でもてなす」の言葉に思わず納得。平日でも約三百人が訪れる総湯は、憩いといやしの場所として市民に愛され続けています。



泉質 ナトリウム硫酸塩化物質（弱アルカリ性低張性温泉）
主な効能 慢性関節リウマチ、神経痛、慢性皮膚病、きりきり
飲泉 可（便秘、動脈硬化、高血圧、胆石）
営業時間 午前八時～午後十時
定休日 八日、十八日、二十八日（休日、土曜、祭日の場合は営業）
料金 大人三〇〇円、小人一〇〇円、幼児五〇円

●問い合わせ
栗津温泉総湯
〒923-0326 石川県小松市栗津町ワ35
TEL.0761-65-1120



▲新しいのれんが目を引く総湯の外観。



▲加賀藩三代藩主・前田利常が植えたといわれる「黄門杉」。那谷寺の参道と同じ熊野杉です。



▲美しい庭園、重要文化財を有する那谷寺。

ふるさと食材図鑑

第3回

【加賀れんこん】



▲河北潟干拓地のレンコン畑。冬収穫されたものは特にふっくらしています。



加賀れんこんとほたて貝柱のソテー「ミルフィーユ仕立て」

加賀れんこんとほたて貝柱の食感のコントラストが絶妙。煮物や蓮蒸しなど、和のイメージのレンコンですが、切ってソテーしても、おいしくいただけます。ポリフェノール、ビタミン、鉄、カルシウムなど栄養素たっぷりのレンコンを洋風のアレンジでどうぞ。



●作り方

- ゆで卵を粗みじん切りにしてマヨネーズで和える。
- 加賀れんこんは皮をむき、5mm程度にスライス。水にさらしてから水気をふき取り、オリーブ油できつね色にソテー、塩コショウする。
- 帆立貝柱は1/2の厚さにスライス。少量の小麦粉をまぶし、オリーブ油でソテー。塩コショウする。
- 2→1→3→1→2をの順に重ねて盛りつける。
- 大根の千切り、パセリのみじん切りを乗せ、ブロッコリーを添えて完成。

- 材料（4人分）
- 加賀れんこん……………2節
 - ほたて貝柱……………16個
 - ゆで卵……………4個
 - マヨネーズ……………50g
 - 大根……………1/4本
 - ブロッコリー……………1個

●ポイント
加賀れんこんの特徴である、もちもち感を生かすため、切り方は厚すぎず薄すぎずがコツ。

もちりなのにシャッキリ

加賀れんこんは、肉厚で節と節の間が短いのが特徴です。他の産地のものより繊維質がち密で、これがモチモチとしながらも、シャッキリとした歯ざわりという独特の食感となっています。

ところで、レンコンの収穫方法には、伝統的な「鉄掘り」とポンプの水圧による「水掘り」の二通りがあります。縁起物だけに需要が高まるのは年末にかけて。この時期、寒空のもと、腰まで冷たい水につかり、泥の中を手探りで掘るのは大変な作業です。石川の冬を代表する野菜として関西方面にも出荷される加賀れんこん。近ごろでは、赤ワインなどで知られるポリフェノールが多く含まれていることが分かり、生活習慣病を予防する健康野菜としても注目を集めています。

Information

小松空港の国際化が加速! 世界がぐんと身近に

小松-ルクセンブルク
komatsu luxembourg



■水・木・金・土・日曜運航

小松空港の国際化が進み、ますます世界が身近になっています。昨年11月には、上海便が就航したのをはじめ、成田便も就航し、国際線の乗り継ぎも大変便利になりました。また、ルクセンブルクへの貨物便も増えて、国際物流拠点化も進んでいます。観光に、ビジネスに、小松空港から世界が広がります。

小松-上海
komatsu shanghai



■木・日曜運航

- 小松13:30→上海14:25
- 上海9:20→小松12:30

※発着時間は現地時間になります。

小松-ソウル
komatsu seoul



■月・水・金・土曜運航

- 小松15:20→ソウル17:20
- ソウル12:25→小松14:05

※発着時間は現地時間になります。

小松-成田
komatsu narita



■1日1往復運航

- 小松8:05→成田9:15
- 成田17:25→小松18:45

●問い合わせ 石川県企画開発部 空港企画課 TEL.076-225-1336



県政に対する
ご意見・ご提言を
お寄せください

前略 石川県知事

住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入の上、郵便またはファクスでお送りください。
〒920-8580(住所の記入不要)
石川県広報聴室 前略 石川県知事あて
FAX 076(225)1363

ホームページでもみなさんからの
ご意見をお待ちしています。

- 知事のホームページの提言コーナー
- いしかわ夢づくりEメール

県のホームページからアクセスしてください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/>

編集後記

●以前、上海を訪れた折には、想像以上の発展ぶりに驚くと同時に、今の中国の持つ勢いを肌で感じました。あれから約一年、上海は、また変わっていることでしょう。定期便の就航で気軽に上海に行けるようになりました。機会があれば、あのエネルギーをもらいに、ぜひ、上海へ行ってみたいと思います。

石川県の人口(推計)

117万7248人(平成16年11月1日現在)

男.....56万9002人

女.....60万7926人

世帯数.....42万8000世帯

(7世帯あたり2.75人)